

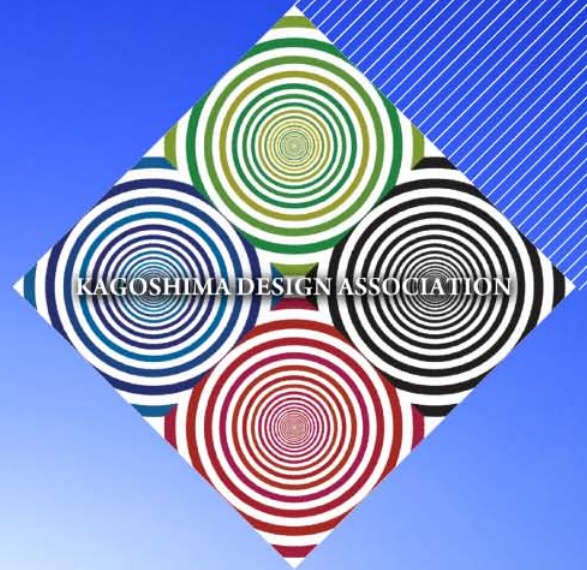
Vol.
96

NEWS RELEASE

発行/NPO法人鹿児島デザイン協会事務局

〒892-0835鹿児島市城南町2-25(協)ドゥ・アート内 TEL.099-239-0101(内13) FAX.099-224-5096 E-mail:info@doart.or.jp

2010年1月号



The theme is "Four power"

**K
DA**
NPO法人
鹿児島デザイン協会



四年ぶりの積雪となった1月13日の夕方、鹿児島大学教育学部の音楽美術棟を訪れました。

通された教室では授業中で、課題のプレゼンの真っ最中でした。

突然の侵入者に緊張気味の学生さんに、厳しくもあったかいエールを送っているのがワダ先生で、25年ぶり?ぐらいの授業の雰囲気しばらく味わった後、研究室でお話を伺いました。

Tyler School of Art(ペンシルベニア)卒業後、webデザイナー、筑波大学大学院を経て鹿児島大学教育学部美術専修の講師として来鹿されて約1年半。

「デザイン教育」の環境づくりに取り組みながら、「プロとして通用する」人材教育を実践されています。当日も学内に撮影スタジオを設置するために業者と打ち合わせをされていたそうで、学内の施設にとどまらず、鹿児島のグラフィック・プロダクトデザインの環

境が向上することを切望されているとのこと。クリエイティブデザイナーに「ナガオカケンメイ」氏を起用する「マルヤガーデンズ」にも興味津々。

今後は学生教育の傍ら自己作品(デジタルでありながらアナログ感のある作品。メディアにこだわらないボーダーレスな作品)の製作も手がけていきたいとのことでした。※作品はここからご覧頂けます。

<http://www.senggeng.com/wada/>

「デザイン教育」の環境づくりに取り組みながら、 「プロとして通用する」 人材教育を実践



鹿児島大学教育学部 講師 **ワダ ナナヒロ**

同じくデザイン協会会員の同大学法文学部井原先生との学生交流も進行中でした。

井原ゼミで企画する「鹿児島市ギャラリーマップ」のWEBデータを、美術専攻の学生が作成したり、逆に美術専攻の学生の作品展示を井原ゼミでサポートしたり。このあたりにも「ボーダーレス」が垣間見えます。

最後に、鹿児島の学生気質について聞いたところ…

「情報や体験に対する貪欲さが足りないのでは？」

「デザインに関わる人間の絶対数が少

ないので、競争意識にかけているのでは？」

と、学生さんどころか、最近どっぴりと日常に浸っているわたしにも「沁み入る」回答でした。

というわけで、今後も鹿児島大学ワダ、井原コンビからは目が離せません！！



連絡先

〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目20-6
鹿児島大学教育学部 音楽美術棟2F
TEL.099-285-7884

取材/広報委員会 (写真)道添 剛 (文)久保 潮



大盛り上がりの望年会!?...でした。



12月18日美華園にて望年会が行われました。大高会長のあいさつ、会員3分間スピーチ等、おいしい中華に囲まれ、和やかなムードで始まり、余興のクイズ大会では大高会長が満点を取り、商品のクリスマスディナー券をもらえる権利があったのだが辞退され、さらなるゲームで西田企画委員長に当たった。クイズの得点も内田広報委員長、かわなべ研修委員長、西田委員長と三委員長が同率で並び高得点でした。

二位以下の商品のワインもその場で栓が抜かれ、大盛り上がり。その模様を観ていらした美華園の陳社長が、別メニューまで出して下さいました。本当にありがとうございました。

ノンカタ仕切り事業仕分委員長 塩津

デザイン百覧会にいたるまで

当初は、百のブースを集めてデザイン博覧会をしたいというのが、この始まりでした。でも、博覧会と言うほど大きな物ではないということで「百覧会」で意見がまとまりました。鹿児島デザイン協会としてはやはりデザインという物に貢献するという目的があります。その目的に少しでも近づくために、今回は新しい試みです。

デザイン百覧会について(実行委員長より)

今回で19回目を迎えるかごしまデザインフェアは「フェア」の原点に戻り、県内の多くのデザイナー、クリエイター、企業が一堂に集まる、年に一度にぎやかなお祭りと考えています。デザイナーとデザインに興味を持つ企業や県民との交流の場を創出することにより、県内のデザインネットワークを上げ、地域産業の活性化とより豊かな生活環境の実現を目指します。

県内のデザイナーやクリエイター(個人や団体)、デザインを経営戦略として起用したりデザイン性の高いモノ作りを実践または支援している企業、今後デザイナーとの協働を目指す企業がブース出展します。プロダクトの展示・販売、試供品の提供やワークショップ、商談スペースなども予定しています。

これを見れば県内のモノ作りやブランド創出におけるデザイン活用の現状、産業・文化振興においてデザインが果たす役割がわかります。

デザイナーと企業にとってはプロダクト発表の場、商談の場となり、県民にとっては新しいプロダクトやコンセプトとの出会いの場、デザインへの理解を深める学びの場となります。最もデザイン性が高いブースを展示した出展者には来場者の投票によって「デザイン百覧会賞」が授与されます。

「かごしまデザインフェア2010 デザイン百覧会」は企業、関係者には大いに参考になることはもとより、一般の方々にも楽しめる内容となっておりますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。

かごしまデザインフェア実行委員会
会長 大高 文雄

デザイン百覧会詳細

- 期間/2010年2月26日<金>~28<日>
10:00am~6:00pm【最終日5:00pm】
- 場所/かごしま県民交流センター 2階大ホール 他
鹿児島市山下町14番50号 TEL.099-221-6600
- 主催/かごしまデザインフェア実行委員会[鹿児島県・財団法人かごしま産業支援センター・社団法人鹿児島県工業倶楽部・特定非営利活動法人鹿児島デザイン協会]
- 後援/九州経済産業局・(財)日本産業デザイン振興会・鹿児島県商工会議所連合会・鹿児島県商工会連合会・鹿児島県中小企業団体中央会・南日本新聞社・MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ・KKB鹿児島放送・KYT鹿児島読売テレビ・NHK鹿児島放送局・エフエム鹿児島・鹿児島シティエフエム・鹿児島県美術協会

協賛イベント

~かごしまから始まる。世界に伝える。~

- 期間/2010年2月27日<土> 開場18:00/開演18:30
- 場所/県民交流センター 県民ホール
- 第1部 邦楽器と響き合うオリエンタル・ヴォイス Emmeライブ
小濱 明人[尺八] 梶ヶ野 亜生[箏]
村岡 航[ドラム・パーカッション]
- 第2部 映画「半次郎」の世界 榎木孝明・吉保良 トーク&ライブ
チケット:3,500円[全席自由]
(半券は映画「半次郎」の割引券としてミッテ10でご利用いただけます。)
- 主催/NPO法人鹿児島デザイン協会
- 後援/映画「半次郎」制作事務局・かごしまフィルムオフィス・NPO法人カゴシマライフネット

ぜひ皆さんもご覧いただいて、参加してみてください。

デザイン百覧会『中締めのような打ち上げ』開催のお知らせ

デザイン百覧会関係者並びに、関係の方々、準備に大変お忙しいことと思います。その様な頑張っている方々に嬉しい情報です!
2月27日のトーク&ライブ終了後に出演者を交え、ゲストを囲んでの慰労会(反省会)を行います。名づけて『中締めのような打ち上げ』。
デザイン百覧会の中日でもあり、翌日が終了日で撤収等があることもありこの日に計画しました。
かごしまデザインフェア実行委員会・鹿児島デザイン協会会員・デザイン百覧会出展者の方々に呼び掛けています。
会場の収容人員制限のため、先着40名様とさせていただきます。

2月27日<土> 9時より
トーク&ライブ終了後
場所/B.B.13BAR
鹿児島市泉町16-13 豊産業ビル2F
ベイエリアにある大正時代の石造りの洋館
会費/5,000円



2009年12月4日(金)～6日(日)

滋賀県琵琶湖畔の歴史の街 「長浜」と加賀百万石の城下町 +デザインのまち「金沢」へ

長浜

長浜は、駅から歩いてあちこち回れるコンパクトな町。古くは豊臣秀吉の最初の居城。今でも城下町の風情があり、水路による交通網の名残や歴史が感じられる商店街など、見どころも多く楽しめました。

金沢の街は、品よくおしゃれ。大切に受け継がれる歴史、文化、工芸などの深さと共に、新しい街づくりもおもしろい。

雨に濡れず動ける駅周辺、整備されたバスターミナル、充実した周遊バス、手に取ってみたいくなるお土産のパッケージデザイン。鹿児島は???いろいろと考えさせられる旅でした。

ドタバタの最後もありましたが(-。-;)、とにかく無事故で無事に帰りつき、2009年度研修旅行が終わりました! 思いやり深い参加メンバーの方々と、またのご縁を期待して…ありがとうございました。



鹿児島空港/朝7時全員集合。



JR長浜駅に到着。お天気も最高♪



秀吉を祀る「豊国神社」/江戸時代は恵比寿神社になり済ましていたらしい。



豊国神社/檜皮葺の唐破風。



第130銀行(明治33年)など黒壁建造物とガラス工芸を軸に、再開発されたレトロモダンな街「黒壁スクエア」。



長浜のマンホールのふた。秀吉ゆかりの千成瓢箪デザイン。



今年も恵原真知子さんが賞金get!
(大高会長の「万歩計歩数当て大会」)



黒壁スクエア「ガラス工芸体験」。格闘1時間半、とんぼ玉完成!
by Kawanabe.



長浜の町を朝散歩。船板塀船板塀の蔵などが建ち並ぶ。

金沢



JR車中／三人寄れば…止まらない止まらない。



観る人も参加する、テーマパークのような「金沢21世紀美術館」。



金沢21世紀美術館／本当は撮影不可。この後、怒られました×



金沢21世紀美術館「レアンドロのプール」。さて、誰でしょう？



とにかく圧倒された、JR 金沢駅「鼓門」。ぶっつい集材材。



兼六園／やっぱり、雪つり。



JR長浜駅前の広場／水で表示するデジタル時計。



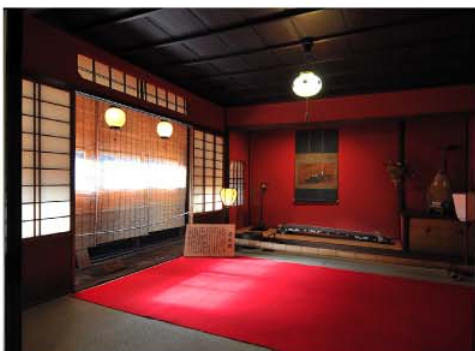
カニカニカニ！ 真剣…金沢の台所「近江町市場」。歩いても歩いてもまだお店がある。



長町武家屋敷群／途中、一部メンバーがハグする?!も、ここで集結。



長町武家屋敷群／土壁も雪から守るため、コモが架けてあります。



ひがし茶屋街／重要文化財の茶屋建「志摩」を見学。床を背にして座ると、正面の小間が舞台に。



ひがし茶屋街「志摩」／パツとふすまが開いて！芸妓さんの舞など(^^)v



ここでお終い、全員猛ダッシュで駅へ!!! お疲れさまでした。



フェアだよ! 全員集合

良く聞く言葉に『心』『技』『体』というのがあります。そのすべてが、整い揃っていなければ、いけないそうでデザインフェア2010で心と技と、とくに体を使いましょう。一番労力の要る設営は、2月25日午前9時からです。テンドラ（電動ドライバー）インパクト（締付パワー絶大）等をお持ちの会員の協力、切に切にお願いいたします。



サプライズあり! チケット売り切りまショー。

1月22日、フェアイベントの打ち合わせを、現地大ホールを眺めながら行いました。メンバーは総舞台監督の三坂氏、セット担当塩津氏、照明音響担当の村岡氏、MCの福元みさんと、不肖わたくし。活発に意見交換しながら、概要固めました。サプライズも仕掛けられた演出あり。ぜひお楽しみに!

さあ、あとはチケット!!! 売り切りまショー。

追伸

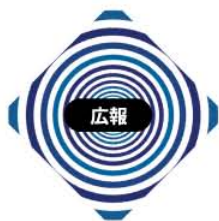
3月13日より、映画「海の中の金魚」公開です。錦江湾を高校生たちがヨットで疾走します。是非!!



お花見&勉強会を準備中。宿泊すればゴルフも…。

新年の委員会は、広報・研修合同委員会としてにぎやかにスタートしました。

研修委員会では、野田和信氏の和紙ギャラリー（蒲生町）にて、桜を眺めながら美味しいランチを楽しむ「お花見&勉強会」（3/28（日）予定）を準備中です。ご希望の方は前日から宿泊宴会も可能! ご宿泊は、隣接するゴルフ場「高牧カントリークラブ」の快適なロッジへどうぞ。詳しくは3月にご案内いたします。春はもうすぐ…お楽しみに♪



メディアへのPRも着々進行中。

昨年末にかけては、金沢の研修旅行や忘年会などイベントが盛りだくさんでしたので、今回は少しボリュームをまして発刊されたニュースリリース、皆さんいかがだったでしょうか? さて、1月20日にデザイン百覧会の広報活動としまして各メディア廻りを行いました。本来ならば私と広報委員が行うべき活動ですが、メディアに顔の利く? 大高会長が私と同行していただきました。感謝はもちろんのことですが、やはり会長のメディアへのパワーにはただただ驚くばかり! 私と委員会のメンバーも早く会長レベルへ追いつき、さらなる協会の周知に努めなければならないと思った次第です。そしてメンバー全員が広告塔となれば最高ですよ。

COLUMN

コラム

昨今、新聞ニュース等でDNA鑑定とよく耳にするがDNA（デオキシリボ核酸）とは遺伝子の事。

人は60個の細胞でできており、その一つ一つに遺伝情報が書かれている。

2002年にその遺伝情報が続べて解明され、Aアデニン/Tチミン/Gグアニン/Cシトシンという塩基の並びで人の形/性格/寿命/病気等を定める設計図すなわちデザインが記されている。そしてそれを解明した学者（人）は凄いなと思う。しかしそのデザインはすでに書かれていたと言う。

誰がそれを書いたのか神のみぞ知るデザインである。

デザインとは作画的ではなく必然的に生まれたもののみが活かされるのではなからうか?



広報委員会 吉迫 久人

編集後記

— 昨年の暮れに始まったリーマンショックから昨年の政権交代。世間の不況の波にのまれながら鹿児島もそのあおりを受け、様々な企業が事業仕分けならぬ事業展開に苦心している様子。鹿児島三越跡の丸屋ガーデンズも4月にオープンを控えながらも、まだ中身が決まり切っていないよう。また、天文館の映画館の話もどこへやら。

鹿児島の元気を取り戻すためには、やはり先を切ってデザインと関わりのある個人が底力を見せていくとき…という気がします。

デザイン百覧会こそ最たる発表の場。鹿児島のデザイン力を存分に発揮し、ここはひとつキバっていきましょう。

ケイデザイン 国生 敬